

みんなが主役、元気・安心、支えあいのまち大蔵

大蔵第一地区の元気プラン

基本目標Ⅰ

住民同士のつながり、
信頼関係を深めよう

重点活動

ネットワーク活動を強化する

活動内容

- ・地域の状況を把握する。
- ・福祉協力員の活動を強化し、地域内の情報交換を定例的に行う。
- ・他団体との連携を深め、情報交換の場を設ける。

基本目標Ⅱ

大蔵第一地区社協の
意識・役割を強化しよう

重点活動

地域の現状と将来像の共有を図る

活動内容

- ・「大蔵だより」を定期的に発行する。
- ・出前講座を活用し意識・知識を高める。
- ・地域住民の健康度をUPする。
検診受診率のUP
生活習慣病等情報の発信
- ・認知症への対応を充実させ周知する。
- ・福祉マップを定期的に更新するとともに緊急連絡体制を整備する。

基本目標Ⅲ

地域の暮らしを支え合おう

重点活動

福祉協力員の増強を図る

活動内容

- ・学校(総合的学習)との連携を強化する。
- ・ウェルクラブの活動を強化する。
- ・買い物弱者対策を検討する。
- ・引きこもり者対策として「ふれあいサロン」を増設する。
- ・元気な年長者の再組織化を図る。
- ・三世代交流事業を強化する。
- ・要支援者との交流を図る。

お困りのことがあれば、いつでもご相談ください
地域包括支援センター八幡東2
電話番号 0120-835-133

この計画は、大蔵第一地区社協が中心となって、関係団体と協力し、福祉のまちづくりを推進するための基本計画です。
 この計画書は計画期間の平成33年度まで各家庭で大切に保管いただければ幸いです。

大蔵第一地区小地域福祉活動第二次計画
 計画実施期間：平成29年度～平成33年度(5ヶ年)
 計画推進主体：大蔵第一地区社会福祉協議会
 主たる活動拠点：大蔵市民センター

1 大蔵第一地区データ

平成29年3月

人口	3,573人	小学校	大蔵小学校
世帯数	1,536世帯	中学校	大蔵中学校
高齢化率	43%	幼稚園・保育園	乳山幼稚園、杉の実保育園
福祉協力員	75名	市民センター	大蔵市民センター

2 地域の特性

大蔵第一地区は、皿倉山の麓、河内貯水池などの北九州国定公園に隣接し、河内貯水池を源流とした大蔵川と豊かな自然味あふれる緑に囲まれたたいへん心地よい地域です。

地区内には学校、市民センター、医療機関及び高齢者施設等の施設は充実していますが、バスの便の減少や区間の短縮など交通の不便さが見受けられます。

また、地域の80%は坂道や階段の多い急傾斜地で、急速な高齢化に伴い買い物・通院などの不便さや引きこもり・認知症などの増加が懸念されています。

3 地域の福祉課題(及び小地域福祉活動の課題)

今回、再度地域の福祉課題について検討を行った結果、当初計画策定時の課題が十分に解決されておらず、引き続きこれに取り組んでいくこととしました。

大蔵第一地区では平成7年よりふれあいネットワーク活動が展開されていますが、少子高齢化の急速な進行により現在、高齢化率は43%で、中心的役割を担っています福祉協力員の平均年齢も67歳となり、若い方々の参加を促す必要があります。

そこで、29年度より区会や社協の専門部会を区会・社協の合同部会に統合しメンバー全員を社協メンバーとして、行事や活動に全員が参加しやすくなる仕組みを考えています。



【大蔵第一地区小地域福祉活動第二次計画の策定経過】

○ 策定委員会委員名簿

氏名	所属	備考
梅本 治孝	大蔵第一地区社会福祉協議会	委員長
馬場 宏	"	
森野 恵子	"	
清田 正廣	"	
石本 武輔	"	
土生 修	"	
米澤 昭海	"	
久原 道子	"	
山田 雅章	大蔵第一自治区会	
久保 利治	"	
加藤 俊男	大蔵まちづくり協議会	
鍋島 淳子	大蔵市民センター	

○ 計画策定委員会での会議日程

回数	開催日	概要
研修会	平成28年7月8日	計画策定研修に4名参加
意見交換	平成28年8月29日	研修の感想、考え方及び策定委員の検討
準備会	平成28年9月26日	二次計画の進め方について
1回	平成28年10月24日	重点活動1, 2の見直し
2回	平成28年11月17日	重点活動3の見直し
3回	平成28年12月14日	地域福祉課題等の再検討
4回	平成29年1月26日	第二次計画案(重点活動1, 2)の検討
5回	平成29年2月23日	第二次計画案(重点活動3)の検討
6回	平成29年3月16日	リーフレット計画書の表面の検討
7回	平成29年4月25日	リーフレット計画書の作成